

児童発達支援 総括表

○事業所名	社会福祉法人 光道園 こども支援センターえがお		
○保護者評価実施期間	R7年12月1日	～	R7年12月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 29	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	R7年12月1日	～	R7年12月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 15	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心感をもって通所し、楽しみに利用している点	こどもが安心して活動できるよう、視覚的な情報提示や環境調整を行い、わかりやすい環境を整えている。また、成功体験や楽しい経験を積み重ねることで、通所への意欲につながるよう支援を行っている。	今後も子ども一人ひとりの興味や発達段階に応じた活動内容を工夫し、安心感と楽しさの両方を大切に支援を継続するとともに、関係づくりの質の向上に努めていく。
2	専門職の連携による、一人ひとりの特性に応じた支援が行われている点	複数の専門職が情報共有を行いながら、子どもの発達状況や課題を多面的に捉え、個別支援計画に基づいた支援を実施している。また、日々の記録や保護者への丁寧な情報共有を通して、共通理解を図っている。	今後も専門職間の連携を強化し、支援の視点や関わり方の共有を深めることで、より質の高い支援の提供につなげていく。
3	安心・安全な環境が整っている	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対策のマニュアルを整備し、定期的に訓練を実施している。 こどもが安心して過ごせるよう、環境構造化や視覚支援を取り入れ、活動の流れがわかりやすい環境を作っている。	・保護者にも安全対策について周知し、マニュアルの内容や訓練の実施状況を共有する方法を検討する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への情報発信の強化が必要	マニュアルや訓練の内容について、保護者への説明や共有の機会が少ない。 情報発信の方法（フェイスブック・ホームページ等）が十分に活用されていない。	・マニュアルの内容や訓練の実施状況について、SNSやお便り等で周知する機会を増やす。 ・ホームページの活用を見直し、情報をよりわかりやすく整理する。 ・法人内の関係部門と連携しながら、情報提供の方法を見直し、より便利で分かりやすい発信を目指す。
2	保護者や地域との交流の機会が少ない	保護者会の開催をしておらず、保護者同士の交流の場がない。 地域住民を招く行事の開催実績がほとんどないため、地域とのつながりが弱い。	・無理のない範囲で交流の機会づくりを検討するとともに、地域とのつながりを広げる方法を模索し、法人や他の支援機関と連携しながら実施していく